

【長崎大学文教おもやい保育園】

設置者：国立大学法人長崎大学

従業員数（男女比）：4,534名（2,022：2,512）

主な事業：教育・研究

（１）運営の概要

| | | | |
|-------------------|---|--------------------------|---------------|
| 保育所の場所 | 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1番14号 路面電車：長崎駅、浦上駅から 番か 番の赤迫行き長崎大学前で下車 長崎バス：長崎駅、浦上駅から滑石、時津行き長崎大学前で下車 | | |
| 運営方式 | 委託（委託業者：株式会社 アイグラン） | | |
| 定員 | 30名（従業員枠：30名、地域枠：-名） 0歳：7名、1歳：8名、2歳：8名、3～5歳：7名 | | |
| 児童対象年齢 | 0歳児～就学前まで | | |
| 保育時間 | （通常保育）平日：7:00～18:00、土：7:00～18:00 （一時預かり）平日：7:00～18:00、土：7:00～18:00 （延長保育）平日：18:00～19:00 | | |
| 利用料金 | （月極）0歳児：34,300円/月、1歳児～2歳児：34,200円/月、 3歳児：31,500円/月、4歳児以上28,600円/月 （一時保育料）3,000円/日、1,500円/半日 （延長保育料）月極利用者：200円/30分、一時保育利用者：300円/30分 | | |
| 共同設置・共同利用の有無 | 無 | | |
| 職員体制 | 園長1名、保育士6名（保育士比率100%）、調理師2名 | | |
| 保育室面積 | 121.95㎡ | | |
| 整備（設置）費用 見込でも可 | 助成費用 見込でも可 | 約4,993.92万円 （土地、建物費用） | 約3,396.3万円 |
| 年間運営費用 見込でも可 | 年間助成費用 見込でも可 | 約5,721万円（見込み） | 約4,255万円（見込み） |

（２）設置までの流れ

| | |
|-----------|------------------|
| 設置までの検討期間 | 平成28年5月～平成29年3月 |
| 整備費申請年月日 | 平成28年6月28日 |
| 運営費申請年月日 | 平成29年度申請予定 |
| 整備費採択年月日 | 平成28年9月5日 |
| 運営費採択年月日 | 平成29年度申請予定 |
| 工事期間 | 平成28年11月～平成29年3月 |
| 開設年月日 | 平成29年4月1日 |

（３）設置のきっかけ・背景・理由

平成25年10月に長崎大学学内保育所設置検討のため、全教職員を対象にアンケート調査を実施し、45.5%の回答を得た。回答者の35.5%が文教キャンパスに保育所が必要との回答であった。また、今後出産を予定して

いる教職員の9割近くが、出産後も仕事を継続することを希望しており、多くの教職員が仕事を続ける条件として保育施設の充実を挙げていた。病院地区であるキャンパス（坂本キャンパス）では、すでに保育園を開設していたが、このたび企業主導型保育事業費補助金を申請し、文教キャンパス内に保育園を設置することを学内会議で検討し、同補助金の申請をすることになった。

（４）設置までのプロセス

社内における意思決定のプロセス

ダイバーシティ推進センターが提案し、役員懇談会で承認を得て、総務部、財務部、施設部との協議を行い、整備費申請の為の作業を行なった。

従業員のニーズの把握や利用者の見積りについて（地域枠の設定・規模の検討を含む）

既存の建物を改装し保育園としたため、スペースが限られており、保育園利用人数も限られるので、地域枠の設定はしていない。

産休中、育休中の教職員に対し利用希望の有無についてのアンケートを実施し、ニーズの把握を行なった。アンケート内容は、平成29年4月1日から開園する保育園に子どもを入園させたいかどうか。また、子どもの年齢について実施した。

土地、場所の確保について

学内の既存の建物を保育所として改装し、利用することになった。

保育士の確保方策について

運営については、業者へ委託することが決定しており、委託業者が対応している。

（５）保育施設の運営について

保育施設の特徴、取り組んでいる保育内容

保育の運営については、業務委託となっている。委託業者の計画ではリトミック（幼児教育プログラム）、ネイティブ講師によるオンラインでの英会話レッスンを毎週実施予定。将来的には学生の実習の場所としても利用を計画している。

保健学科の教員等から検討を考えたいとの提案を受けているが、具体的に確定はしていない。

（６）現在の課題と今後の取り組み予定

利用児の募集を開始したところ、0歳児は定員を満たしたが、その他の年齢は定員を割っている。委託業者によると初年度は定員を充足することは難しいとのことであったので、年々充足率は上がっていくと思われる。

（平成29年2月10日現在の充足状況は30名中14名の充足、その他一時保育利用希望者あり。）

（７）従業員への子育て支援を進めようとしている他社へのメッセージ

長崎大学は大学敷地内に保育所の設置を計画したので、利用者の利便性はよく、利用者の安心にもつながると考えられる。事業所内に設置することが従業員にとっては望ましいのではないかと。